

序

東京都健康安全研究センターは、都民の生命と健康を健康危機から守るための科学的・技術的拠点として、食の安全、感染症のまん延防止や医薬品、生活環境、飲用水の安全確保等のための試験検査・調査研究に加え、食品や環境、医薬品の監視指導等を行っております。

健康危機管理を的確に行うためには、平常時からの備え、すなわち、健康危機に関する情報を常に把握し、リスクを早期に発見して時宜を得た対応を行う必要があります。

さらに、健康危機と思われる事象が発生した場合、早期に原因を特定して、必要な措置を講じることが、健康危機を最小限に抑えることにつながります。

当センターでは、健康危機対策を科学的側面から支える機関として、日常の試験検査や情報収集・分析等から健康危機の早期発見を図るとともに、多岐にわたる分野の調査研究を行い、新たな試験法の開発や、検査精度の向上に努めております。

本研究年報は、平成 23 年度に当センターが取り組んだ研究の成果をまとめたものです。多くの研究課題のうちから 34 題の論文を掲載しておりますが、いずれも健康危機への対応力を高めるための礎となる研究であります。

当センターといたしましては、このような研究を積み重ねることにより、都の危機管理対応力の向上に寄与していく所存でございます。関係の皆様におかれましては、本年報をご一読いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月

東京都健康安全研究センター所長

住 友 眞 佐 美